

答 申 書

～留辺薬自治区内事業の今後のあり方について～

平成24年12月
留辺薬まちづくり協議会

平成24年12月17日

北見市長 櫻田真人様

留辺蘂まちづくり協議会
会長 戸田健司

留辺蘂自治区内事業の今後のあり方について（答申）

平成24年8月23日付けで諮問のありました自治区内事業の今後のあり方について、慎重に協議を重ねました結果、別紙のとおり答申いたします。

【答申にあたって】

留辺蘂まちづくり協議会は、平成24年8月23日、北見市が策定する総合計画前期基本計画等における「留辺蘂自治区内事業の今後のあり方について」諮問を受け、北見市の将来像「ひと・まち・自然きらめくオホーツク中核都市」を目指すため、それぞれの基本目標に掲げられた分野別の施策ごとに、自治区別整備方針に沿えるよう、地域課題を確認しながら特色ある自治区づくりを目指すため協議を重ねてきました。

議論の進め方については、既の実施されている事業、及び実施計画で採択されている継続事業25件と第5次実施計画に新たに登載する予定の新規事業27件について担当から説明を受け、これに対する質疑を行い、さらに委員相互の意見交換を行ったうえで、事業の必要性、単に要求だけの提案をするのではなく、北見市の厳しい財政状況を勘案するとともに、事業それぞれの費用対効果などを検討しながら意見を取りまとめたところであります。

答申として述べた地域課題は、いずれも序列をつけがたいものがありますが、自治区として優先的に必要とする事業を明確に位置づけております。

市長におかれましては、第5次実施計画事業等における留辺蘂自治区に関連する事業を実施するにあたって、本答申の主旨を十分に尊重されますとともに、下記の事項に配慮していただきますよう答申します。

記

1. 快適で過ごしやすい生活環境を創造することは、市民全ての願いであり、住みたいまちの条件でもあります。安全で安心して暮らすことができるよう、市民生活の基礎を支えるための取り組みを期待します。
2. 産業の振興は、地域の活性化に欠かせません。恵まれた地域資源を積極的に活用し、産業基盤を強化するとともに雇用の場を確保し、地域の特性を生かした産業や産物を北見市の魅力として発信し、全国的な広がり結びつけていくことを期待します。
3. 事業の実施にあたっては、主旨や内容をわかりやすい形で積極的に市民に周知し広く理解や協力を得るとともに、多くの市民の参画を求めながら事業に取り組まれるよう期待します。
4. 市の行財政を取り巻く状況は、国の各種制度改革などにより大きく変わってきています。
これらの変化に対応し、限られた財源や人材を最大限有効に活用できるよう、既存の行政システムの見直しと財政の健全化を図り、コスト削減に努めながら、市民にとって真に必要なサービスを効果的・効率的に提供していくために、徹

底した行財政改革を推進されますよう期待します。

5. これから整備を予定している施設については、市民の意向を反映するため企画立案段階から多くの市民の参画を求めるとともに、既存の施設も含めて、多くの市民が多角的に利用することができる機会づくりなど、ソフト事業にも工夫を凝らし有効に活用されることを期待します。

【留辺蘂自治区内事業の今後のあり方について】

留辺蘂らしさについて

留辺蘂自治区は、無加川流域の肥沃な大地で営まれる農業と、豊かな森林資源を活かした林業・林産業、そして、温根湯温泉郷を核とした観光を中心に発展してきました。

農業では、作付面積日本一を誇る「白花豆」、林業・林産業では、国内有数の生産量を誇る「経木」のほか、間伐材を活用した集成材や木材加工品、クラフト製品、観光では、温根湯温泉郷を核として年間約45万人の観光客が訪れ、オホーツク圏域の玄関口としての役割を果たしております。

今、地方を取り巻く経済情勢は依然として厳しい状況ではありますが、北見市にある豊かな資源を最大限に活かし、地域の歴史や文化、特性などを尊重し、機能を分担しながら北見市全体の均衡ある振興発展に努める必要があります。

記

- 1 旧留辺蘂町は、国民体育大会弓道競技の開催が決定した昭和56年に「福祉とスポーツの町」を宣言し、安心して楽しい生活ができる地域、社会づくりとスポーツを通じて健全な青少年の育成を願い、町民同士がその意義を確かめながらまちづくりを進めてきました。

福祉では、社会福祉協議会を中心にボランティア団体等の協力により地域の福祉活動が推進され、特に、大和地区・瑞穂地区では、ノーマライゼーションエリアの指定を受け、高齢者や障がいを持った人と健常者が共にノーマライゼーションの理念に基づきながら、地域ぐるみで行事やボランティア活動に取り組んできたところであり、また、留辺蘂高校をはじめ、自治区内の小中学校においても、社会福祉協議会事業の指定等を受けながら、福祉ボランティア活動や校区内の地域特性を生かした体験学習等が活発に行われてきております。

高齢化の進行が著しい中、安心していきいきとした老後を過ごせる地域づくりを推進していくためにも、今後も、地域住民がお互いに協力しながら自治区全体で「福祉とスポーツでまちづくり」を基本目標として進めていくことが必要です。

- 2 観光は、オホーツク圏域の西の玄関口という立地条件に恵まれ、明治32年の開湯から113年を有する温根湯温泉郷を核に発展してきました。

しかし、近年は長引く景気低迷の影響により温泉街の衰退などによる魅力の低下、宿泊客の低迷等多くの問題を抱えることとなり、

特に、昨年3月に発生した東日本大震災と福島第一原子力発電所の事故の影響などから、前年度の観光入込客数は平成22年度との比較において3割近く減少し、旅館業においても、宿泊客数の減少が2割弱を数え、中でも外国人宿泊客は7割近く減少するといった大変厳しい状況に陥りました。

その様な状況の中、平成20年度から進められ、今年度で事業の最終年度を迎えた温根湯温泉街再生整備計画事業により、本年7月7日にリニューアルオープ

ンした山の水族館が、水族館プロデューサーである中村元氏の斬新な展示方法を取り入れたプロデュースにより、当初の予想を上回る程多くの入館者が訪れる大変好調なスタートをきることができ、その集客力を背景に、今年度上半期の観光入込数は約41万人と前年同期比で5割以上の増加となるなど、温根湯温泉観光活性化へ向けた効果が現れはじめてきています。

今後においては、この集客力を持続させるための魅力づくりや一度訪れていただいた方に再び訪れていただけるような景観を含めた環境整備について、地域住民や関係機関と一体となった取組みを進めることが重要であると考えます。

また、道内、管内、周辺地域の関係機関・団体等とも連携を図り、安全・安心な観光地のイメージ回復に努めるとともに、人口減少に伴い日本人観光客の増加が見込めないことから、国際化の進展により、増大する外国人観光客の誘致など海外へ向けての積極的なPR活動を行うことも必要であり、さらには、高速・高規格道路等の整備が進み、地域の骨格である国道39号線の交通量が減少する中、主要幹線道路の要所に当地への案内看板を設けるなど、少しでも多くの人々を当地に招き入れるような工夫を図るとともに、引き続き、中村元プロデューサーの協力を得ながら、山の水族館を核とする温根湯温泉街再生整備事業の成果を活かしながら、地域の歴史や文化、祭り等の観光資源の重要性を再認識し、地域の特色ある観光素材を生かしたソフト面の充実を図り、温根湯温泉街に賑わいを取り戻すことを期待しているところであります。

基本目標1. 自然と共生する安全・安心のまちづくり

【最優先に取り組むべき事業】

○南26号川整備事業

南26号川については、現在の自然河道が頻繁に氾濫し、河岸と付随する道路の法面が崩れて補修を重ねている状態であり、当該道路と河川の適切な管理を行う上で、早期に護岸を整備する必要があると考えます。

○留辺蘂自治区河川土砂上げ事業

普通河川の無名川、大和川及びハナワビバウシ川においては、中州の発達や繁茂により河道面積が減少し、増水時の流下阻害や河床と護岸施設の破壊などが危惧されていることから、治水能力の向上を図るために、河川環境に配慮しながら計画的に土砂上げを実施すべきと考えます。

○留辺蘂町葬斎場整備事業

開設後25年が経過した留辺蘂町葬斎場は、老朽化により炉の耐火物の修繕が必要な状況にあります。

現在の施設を安全に使用して、利用者の心情に配慮した施設の運用を図るため、早期にこれを修繕すべきと考えます。

○都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業（留辺薬）

老朽化した都市公園施設については、公園利用者の安全確保を図るとともに、より多くの方々に利用していただくためにも、安全できれいな施設への改築や更新が必要であり、計画的に整備を進めるべきと考えます。

【優先的に取り組むべき事業】

○留辺薬自治区河川改修事業

基本目標2. 豊かな心と文化を育てるまちづくり

【最優先に取り組むべき事業】

○留辺薬町公民館屋上防水工事事業

○留辺薬町公民館講堂備品整備事業

留辺薬町公民館は、留辺薬自治区の社会教育の中心的機関として、地域住民の生活ならびに文化の向上に大きな役割を果たしています。

現在、屋上設備の老朽化により、講堂の一部で雨漏りが発生していることから、電気設備の安全確保と施設設備の消耗を抑制するためにも、早急に対処すべきと考えます。

講堂備品のテーブルと椅子については昭和52年の開館当時に購入したもので、非常に重たく一人で持ち運びができない状況です。高齢者の利用が多い当該施設において、特にその高齢者からの改善の要望が多いことから、早急に改善すべきと考えます。

○留辺薬図書館暖房設備改修工事

留辺薬図書館は、幅広い年代の方に利用されており、生涯学習の場として重要な役割を果たしています。

建設後19年が経過しており、暖房設備については耐用年数も過ぎて漏水等多発していることから、冬期間の読書環境を保つために早期の整備が必要と考えます。

○学校給食機械設備整備事業

学校給食については、子供たちの食育推進を図るうえでは欠かせないものです。消毒保管庫は安全な給食を提供するために必要なものであり、計画的に更新すべきと考えます。

○留辺薬中学校 給湯配管改修工事

留辺薬中学校の給湯配管は素材が鉄管であり、昭和56年に布設されて以来改修されていないため、腐食が激しく、漏水が散見されている状況です。

生徒の飲料・家庭科の調理等に利用するものでもあり、早急な改修が必要と考えます。

○留辺薬児童館暖房配管改修工事業

現在の暖房配管は既に20年以上使用してきており、水漏れが起きて暖房の供給に支障をきたしている状況です。

子どもたちが自分の自由な意思に基づいて、遊ぶことができる放課後の環境を確保するためにも、早期に改修を進めるべきと考えます。

○留辺薬町体育館整備事業

年間を通して利用されている留辺薬町体育館の暖房配管は、昭和55年に施設が建築されて以来、蒸気漏れの都度、部分箇所の修繕を繰り返してきましたが、管の腐食箇所が増えて大規模な改修が必要な状況に至っていますので、冬期間の施設利用を確保するため、早期に改修すべきと考えます。

○旭運動公園整備事業

施設の利用価値を高め、福祉とスポーツでまちづくりを進めるためにも、野球場バックスクリーンの改修やテニスコートのオムニコートへの改修工事等、現在のルールや大会の条件に則するために必要とする改修等は早期に実施すべきと考えます。

【優先的に取り組むべき事業】

○留辺薬町公民館非常用発電機設備更新事業

○移動図書館車更新

○スクールバス更新事業 留辺薬自治区

○八方台スキー場整備事業

基本目標4. 活力を生み出す産業振興のまちづくり

【最優先に取り組むべき事業】

○畑地帯総合整備（担い手支援）留辺薬温根湯地区

農業を取り巻く諸情勢がますます厳しくなっていく中で、担い手経営者の育成強化を図るための事業は最優先に実施すべき事業と考えます。

○明渠排水路維持補修事業

降雨等により土砂堆積の著しい排水路施設については、農地への湛水や隣接する民家へも被害を及ぼす恐れがありますので、早期に補修すべきと考えます。

○農業振興施設整備事業（根々の丘花木整備）

これまで整備を進めてきた農村公園根々の丘の花壇の一部において、宿根草が根付いていない状況にありますので、施設の充実を図り、花の温泉郷としての観光資源のひとつとするためにも、効果的な補植による花壇整備を行うべきと考えます。

○山の水族館施設整備事業

○道の駅おんねゆ温泉「果夢林の館」等整備事業

今年7月に道の駅おんねゆ温泉内においてリニューアルオープンした「山の水族館」は、開館から2ヶ月間で10万人を超える入館者数を記録する等、これまで多くの集客を果たしてきており、道の駅内の関連施設や温根湯温泉経済への波及効果も現れてきています。

今後も持続した集客の確保と安定的で魅力ある施設の運営を図るためには、魚の飼育養生や将来的に安定した用水の確保と非常時に対応できる施設とするための整備については、早急に行うべきと考えます。

また、隣接する「果夢林の館」とシンボルトワーであるからくりハト時計塔「果夢林」の老朽化した外観と内装の整備と、敷地内の公園施設も含めて、より快適で安心して利用できる道の駅とするために必要な整備は、積極的に行うべきと考えます。

【優先的に取り組むべき事業】

○道営温根湯地区畑地かんがい推進事業（技術普及支援）

○中山間地域総合整備事業（農業生産基盤）瑞穂地区

○畑地帯総合整備（担い手支援） 留辺蘂温根湯第2地区

○滝の湯温泉泉源ポンプ整備事業

基本目標5. 住む喜びを実感できる生活優先のまちづくり

【最優先に取り組むべき事業】

○留辺蘂自治区舗装道補修事業

交通環境の保全と道路の延命化を図るためには、舗装道のオーバーレイや穴埋め等の補修は、早期に実施する必要があると考えます。

○留辺蘂町温泉通り・東4条通りオーバーレイ事業

温泉通りと東4条通りについては、山の水族館により集客が増えている道の駅施設から温泉街へと通ずるアクセス道路ですが、不陸や舗装のひび割れが著しく、通行に支障がありますので、早急に整備を進めるべきと考えます。

○留辺蘂町平里農耕線側溝整備事業

平里農耕線については、降雨のたびに排水路が氾濫し、砂利道を侵食して交通機能を寸断してしまうことから、早急に側溝を整備すべきと考えます。

○留辺蘂町鉄南5号・10号通り道路整備事業

鉄南5号・10号通りは住宅地の区画道路ですが、周辺道路は整備済みであり、住民からの改善要望も高いことから、早急に改良舗装を行うべきと考えます。

○留辺薬町温泉団地 3・4・5 号通り道路整備事業

温泉団地 3・4・5 号通りは、市営住宅の団地内の道路ですが、留辺薬自治区内の市営住宅内では唯一の未改良道路であり、基礎的な生活環境の整備を図るためには、早急に改良舗装を行うべきと考えます。

○3・4・5 号通り交通安全対策事業

3・4・5 号通りについては、北海道の施工による整備事業に併せて歩道灯の設置が行われてきていますが、交通安全と防犯対策を図るためには、引き続き歩道灯の設置を行うべきと考えます。

○留辺薬自治区路面排水整備事業

近年増加している集中豪雨時に生じる路面等の表面水が既存の排水施設では排除しきれない状況になっています。溢れた水が大きな被害を招く恐れもありますので、計画的に整備を進めるべきと考えます。

○留辺薬既設市営住宅塗装事業

公営住宅については、年次計画に基づき順次建設をしておりますが、建て替えに至らない住宅については、年次計画に基づき良好な住宅の保全に努める必要があると考えます。

○普通財産建物解体事業（留辺薬自治区）

現在使われておらず、老朽化して倒壊の恐れもある危険な建物については、周辺の安全確保とともに、景観整備のためにも早急に解体撤去すべきと考えます。

○温根湯温泉地区統合簡易水道事業

○原水及び浄水施設整備事業（瑞穂地区簡易水道）

水は、日々の生活に欠くことのできない大切な資源であり、安全で良質な水を安定的に供給することが求められております。

温根湯温泉地区統合簡易水道事業については、水道未普及地域の解消と施設の効率的な運用に向けて関係機関と連携しながら計画的に整備を進めるべきと考えます。

瑞穂地区簡易水道については、安全安心で安定的な水道水の供給を確保するために必要とする施設の更新等について、計画的に整備を進めるべきと考えます。

【優先的に取り組むべき事業】

○留辺薬町国体通り道路整備事業

○留辺薬町旭西 1 号通り、2 号通り、3 号通り整備事業

○留辺薬町旭西 4 号通り道路整備事業

○留辺薬町東 3 号裏通り道路整備事業

○留辺薬市営住宅改善事業

○留辺薬公営住宅整備事業（福祉地区団地）

- 留辺薬地区下水道整備事業（雨水管渠）
- 留辺薬地区下水道整備事業（污水管渠）
- 留辺薬町下水道管理センター整備事業

【早期に取り組むべき事業】

- 留辺薬町留辺薬訓子府線道路整備事業

基本目標6. 市民とつくる信頼と協働のまちづくり

【最優先に取り組むべき事業】

○留辺薬総合支所庁舎改修事業

昭和41年に建築された留辺薬総合支所庁舎は、これまでも必要に応じて維持補修を施しながら使用してきていますが、現在、庁舎望楼の窓枠の腐食や来客用入口の破損が進んでいる状態にあります。利用者の安全確保を図るうえでも早急に改修を行うべきと考えます。

○留辺薬町民会館整備事業

留辺薬町民会館は、老人クラブや自治会活動などの地域コミュニティの中心的な役割を担う施設ですが、昭和44年に建設された施設は老朽化と狭隘化が進んでいる状況にあります。高齢化の進展が著しい留辺薬自治区において、公共施設の複合化や統合についての検討を進めながら、高齢者とともに地域住民が一体となって過ごせる地域コミュニティの拠点となる施設として計画的に整備を進めるべきと考えます。

○さかえ会館改修補助事業（留辺薬自治区）

地域会館であるさかえ会館は、建築後50年を経過し、施設の老朽化が進む中、地区老人クラブや自治会活動が活発化して利用人数も増加していることから、地域の住民活動を促進するためにも、施設の延命化を図るための支援を行う必要があると考えます。

○留辺薬まちづくりパワー支援補助金

市民が自ら考え、自ら実践するまちづくり活動を推進することを目的として実施されてきた補助事業であり、当協議会も審査に関わっておりますが、これまでも多くの有益な事業が行われてきているところであり、今後も自治区の事情に配慮しながら、市民活動団体へのPRに努めるなど積極的にまちづくり活動を推進すべきと考えます。

【優先的に取り組むべき事業】

- 留辺薬総合支所庁舎自動ドア更新事業

【協議会の意見】

○自治区制度の今後のあり方について

平成18年3月に合併し、6年9ヶ月が過ぎました。合併による地域住民の不安を解消するため北見市独自の方式で、自治区設置条例を制定し、自治区制度、総合支所、まちづくり協議会をそれぞれに設置しました。地域の歴史や文化、特性などを尊重し、それぞれの機能を分担しながら地域づくりを進めてきましたが、少しずつではありますが、新市として一体感が生み出され、また、自治区制度も確立されつつあります。

今後も新市としての一体感を醸成することは勿論大事なことです。同様にそれぞれの自治区で取り組まれてきた機能や個性的な地域づくりもしっかりと継承しなければなりません。

○今後の地域課題

- 1 自治区制度をより充実していくためには、住民と行政が情報を共有し、知恵を出し合いながら自主的・主体的な取組みを促進していくための仕組みづくりが必要です。

北見市自治区設置条例第10条では、自治区長は、自治区の円滑な運営と均衡ある発展に資するよう、市長その他の市の機関及び自治区の区域内の公共的団体等との緊密な連携を図るとともに、総合支所及び協議会に関し、これを統理するとなっています。

今後においては、現行制度の十分な検証を行い、日本で一番長く、道内で最も広い行政区域を有する北見市にとって、真に必要とする自治区制度を確立していくためにも、市の憲法である北見市まちづくり基本条例を遵守し、自治区長の権限が最大限発揮され、自治区の特色を大いに活かして、多様化する市民ニーズに即応できるような仕組みづくりを検討する必要があります。

- 2 留辺蘂自治区内は、留辺蘂市街地、温根湯市街地、大和地区、瑞穂地区に分かれておりますが、各地区の公共施設を整備する際には、地域の拠点施設として、新たな市民ニーズへの対応や利便性の向上を考慮するとともに、幼児からお年寄りまであらゆる世代の人たちが利用することができるよう複合化施設として整備すべきと考えます。

- 3 留辺蘂自治区は、平成23年度末で65歳以上の高齢者の割合が凡そ4割を占め、北見市の4つの自治区の中で最も高齢化率が高く、また、最も人口減少率の高い地域でもあります。

特に独居世帯となった高齢者がこの自治区に住み続けられなくなって転出するといった状況も数多く見られ、空き家も年々増えてきています。

地域を守るためにも、小規模多機能型居宅介護サービス等各種介護サービス、施設サービスや地域密着型サービスと高齢者福祉住宅等高齢者居住地域の集約化など、医療関係や介護保険施設と高齢者住居との連携を図り、高齢者が可能な限

り住みなれた地域で生活が出来るような施策を進める必要があると考えますので、北見市高齢者保健福祉計画及び北見市介護保険事業計画等各種福祉計画に日常生活圏域としての留辺蘂地区を高齢化対策の政策推進地域としてしっかり位置づけをするなど、先進的・重点的に施策を進めるべきと考えます。

- 4 当地域の豊富な森林資源を守り、次世代に引き継いでいくためには、森林の適切な育成管理と利活用を促進させることが重要です。

地域材の利用推進等により、留辺蘂自治区の基幹産業である林業・林産業の振興を図ることは元より、エネルギー対策としても、唯一の再生可能資源である森林資源を活かした木質バイオマスエネルギーの利用推進を図り、持続可能な森林整備を進めるべきと考えます。

留辺薬まちづくり協議会における協議経過

協議回数	開催日	場 所	内 容
1	8月23日(水) 午後7時00分	留辺薬町公民館	諮問 (1) 留辺薬自治区内事業の今後のあり方について
2	10月11日(木) 午後6時30分	留辺薬町公民館	議題 (2) 留辺薬自治区内事業の今後のあり方について
3	10月29日(月) 午後6時30分	留辺薬町公民館	議題 (1) 留辺薬自治区内事業の今後のあり方について
4	11月15日(木) 午後6時30分	留辺薬町公民館	議題 (1) 留辺薬自治区内事業の今後のあり方について
5	11月29日(木) 午後6時30分	留辺薬町公民館	議題 (1) 留辺薬自治区内事業の今後のあり方について

留辺薬自治区要望事業一覧

1. 自然と共生する安全・安心のまちづくり

(1) 防災の強化

1	留辺薬自治区河川改修事業	普通河川の調査設計及び用地取得、護岸改修工事
2	南26号川整備事業	測量調査、用地購入、改修工事 L=350m
3	留辺薬自治区河川土砂上げ事業	調査設計、堆積土除去工事、支障木伐採

(4) 地球環境保全と循環型社会の構築

4	留辺薬町葬斎場整備事業	1・2号炉燃焼室・排気筒耐火物積替
---	-------------	-------------------

(5) 快適な生活空間の整備

5	都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業(留辺薬)	都市公園の遊具等更新 1式
---	--------------------------	---------------

2. 豊かな心と文化を育てるまちづくり

(2) 生涯学習の充実

6	留辺薬町公民館屋上防水工事事業	屋上防水工事
7	留辺薬町公民館非常用発電機設備更新事業	非常用発電機の交換
8	留辺薬町公民館講堂備品整備事業	テーブル、椅子の更新
9	留辺薬町図書館暖房設備改修工事	床暖房配管設備改修工事、真空式温水機更新工事
10	移動図書館車更新	移動図書館車1台更新

(4) 小中学校教育の充実

11	学校給食機械設備整備事業	電気式消毒保管庫2台更新
12	スクールバス更新事業 留辺薬自治区	スクールバス(45名乗り)1台購入
13	留辺薬中学校 給湯配管改修工事	給湯配管の全面交換改修

(7) 青少年の健全育成

14	留辺薬児童館暖房配管改修工事事業	暖房用ボイラー配管の交換
----	------------------	--------------

(10) 生涯スポーツの振興

15	留辺薬町体育館整備事業	アリーナ床下暖房用ボイラー配管修繕工事
16	旭運動公園整備事業	第1野球場得点板及びバックスクリーン改修、第2野球場フェンス改修、テニスコート改修工事2面、テニスコート駐車場残土緑化改修工事、テニスコート管理塔改修工事
17	八方台スキー場整備事業	ペアリフトワイヤーロープ更新、ペアリフト制御電気部品更新、ペアリフト滑車ゴムライナー更新、人工降雪用疎水ポンプ更新

4. 活力を生み出す産業振興のまちづくり

(2) 地域特性を活かした農業の振興

18	道営温根湯地区畑地かんがい推進事業(技術普及支援)	畑地かんがい施設整備後の技術普及支援 面積612ha
19	畑地帯総合整備(担い手支援)留辺薬温根湯地区	農道(改良・舗装)L=340m 用排水路工(土砂上げ)L=6,100m
20	中山間地域総合整備事業(農業生産基盤)瑞穂地区	道営事業計画樹立費 1式
21	畑地帯総合整備(担い手支援)留辺薬温根湯第2地区	道営事業計画樹立費 1式 明渠排水路調査設計 1式
22	明渠排水路維持補修事業	明渠排水路土砂上げ L=1,500m
23	農業振興施設整備事業(根々の丘花木整備)	農村公園花壇の花木補植(900㎡)

(7) 新たな観光資源の活用

24	山の水族館施設整備事業	非常発電施設設備工事、地下水調査及び井戸及び給水敷設工事、滝の湯魚飼育養生施設整備、開館1周年記念事業費
25	道の駅おんねゆ温泉「果夢林の館」等整備事業	「果夢林の館」外壁塗装及び床修繕、トイレウォッシュレット化(男1、女2)、果夢林ワールド内エアコン設置、「(大型公衆トイレ)クリーンプラザおんねゆ」トイレ洋式化(男1、女2)、西児童公園あずま屋及び遊具修繕、からくりハト時計塔「果夢林」外周疑木塗装
26	滝の湯温泉泉源ポンプ整備事業	滝の湯泉源2号井、3号井ポンプの更新

5. 住む喜びを実感できる生活優先のまちづくり

(2) 道路網の整備

27	留辺薬自治区舗装道補修事業	オーバーレイ及び舗装道穴埋め等の補修
28	留辺薬町温泉通り・東4条通りオーバーレイ事業	調査設計 L=1,400m、オーバーレイ工事 L=1,400m、排水施設改修
29	留辺薬町平里農耕線側溝整備事業	側溝整備(U型トラフ450 L=210m)
30	留辺薬町鉄南5号・10号通り道路整備事業	改良・舗装工事 L=200m
31	留辺薬町温泉団地3・4・5号通り道路整備事業	改良・舗装工事 L=125m 車道:W=5.5m 歩道:W=1.5m
32	3・4・5中央通り交通安全対策事業	歩道灯の設置 5基
33	留辺薬町国体通り道路整備事業	歩道改築 L=600m×2 W=3.5m×2 公共施設案内板 1基、街路灯改築 11基(塗装・架空配線)、植樹87本
34	留辺薬町留辺薬訓子府線道路整備事業	調査設計、用地取得、改良舗装工事 L=420.96m W=6.0m
35	留辺薬町旭西1号通り、2号通り、3号通り整備事業	調査設計、改良舗装工事 L=370m Σ W=7.27m W=5.5m
36	留辺薬町旭西4号通り道路整備事業	調査設計、改良舗装工事 L=181m Σ W=7.27m W=5.5m
37	留辺薬町東3号裏通り道路整備事業	調査設計、改良舗装工事 L=181m Σ W=7.27m W=5.5m
38	留辺薬自治区路面排水整備事業	調査設計、排水施設整備

(4) 良好な住宅・住環境の創出

39	留辺薬既設市営住宅塗装事業	市営住宅塗装工事(上町団地4棟8戸)
----	---------------	--------------------

40	留辺薬市営住宅改善事業	住戸内の改善事業(公園団地) (浴室ユニットバス化・3箇所給湯設備・内窓プラストサッシ化・換気設備改修・給水管取替)
41	普通財産建物解体事業(留辺薬自治区)	老朽化した普通財産(木造平屋建物)の解体撤去(S37年築182.64㎡1棟、S42年築52.17㎡1棟)
42	留辺薬公営住宅整備事業(福祉地区団地)	用地測量(4,500㎡)、地盤調査(6棟24戸)、基本設計(6棟24戸)、実施設計及び建設工事(2棟8戸)

(5) 水道の安定供給と下水道の整備

43	温根湯温泉地区統合簡易水道事業	浄水設備整備、送水設備整備、配水施設整備
44	原水及び浄水施設整備事業(瑞穂地区簡易水道)	膜ユニット更新工事、PAC注入設備更新工事
45	留辺薬地区下水道整備事業(雨水管渠)	下水道雨水管の整備
46	留辺薬地区下水道整備事業(汚水管渠)	公共汚水柵設置
47	留辺薬町下水道管理センター整備事業	測定機器購入、低率 長寿命化計画策定、通信補強実施設計、低率 水処理・汚泥処理施設実施設計、管理棟耐震化工事

6. 市民とつくる信頼と協働のまちづくり

(2) 行政サービスの向上

48	留辺薬総合支所庁舎改修事業	庁舎望楼ガラス改修、庁舎来客用入口改修
49	留辺薬総合支所庁舎自動ドア更新事業	庁舎自動ドア更新

(5) 住民自治の推進

50	留辺薬町民会館整備事業	基本調査、基本設計、実施設計、用地買収(約5,000㎡)建設工事(約960㎡)
51	さかえ会館改修補助事業(留辺薬自治区)	老朽化した地域コミュニティ施設の改修(外壁・サッシ・内部一部改修)に対し、補助する。
52	留辺薬まちづくりパワー支援補助金	5人以上の団体が行う安心安全な地域づくり、地域の生活環境の改善、自然環境保全、地域の伝統・文化・スポーツの振興、子どもの健全育成、地域の特性を生かした産業振興、その他個性豊かな住みよい地域社会の構築などのまちづくり活動事業に対し、補助する。

【留辺薬まちづくり協議会委員】

[委嘱期間H24. 6. 14~H26. 6. 13]

	氏 名
委 員	荒 武 文
委 員	飯 田 和 浩
委 員	石 田 敏 明
委 員	稲 村 幸 宏
委 員	遠 藤 登志子
委 員	大 江 友 広
委 員	笠 原 信 廣
委 員	菊 池 達 也
委 員	菅 波 正 樹
委 員	高 橋 澄 枝
◎会 長	戸 田 健 司
委 員	畠 山 勝
委 員	幅 崎 久美子
委 員	春 木 君 枝
○副 会 長	横 田 正 純

50音順